

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地			
日本工学院八王子専門学校		昭和62年3月27日	千葉 茂		〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404番地1他 (電話) 042-637-3111			
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地			
学校法人片柳学園		平成25年3月1日	片柳 鴻		〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111			
目的	プレイヤーとしての競技力向上を主軸に置いた「プレイヤー専攻」と、コーチやテニスクラブスタッフに必要なスキルを身につける「コーチング専攻」を設置。一流のコーチと理想の指導環境のもとで学べます。							
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養	芸術専門糧		スポーツ健康学科 テニスコース		平成26年文部科学大臣 告示第7号		-	
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	1700	615	0	3090	0	0	
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数
240人 の内数		260人 の内数		12人 の内数		32人 の内数		44人 の内数
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 授業日数の4分の3以上出席し試験を受験する。 S:90点以上 A:80～90点 B:70～79点 C:60～69点 D:59点以下は不合格 P:単位認定		
長期休み	■学年始:4月1日～ ■夏季:8月1日～8月31日 ■冬季:12月23日～1月9日 ■学年末:3月21日～3月31日			卒業・進級条件		進級要件 ①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること 卒業要件 ①卒業年次の授業日数の4分の3以上出席していること ②所定の授業科目に合格していること ③期日までに学費等の全額を納入していること		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 担任から電話・メールでの指導。保護者への連絡。場合により後日三者面談の実施。			課外活動		■課外活動の種類 卒業作品展示会、ボランティア活動、体育祭、学園祭 ■サークル活動: 有		
就職等の状況	■主な就職先、業界等 スポーツクラブNAS株式会社 高木工業株式会社 スポーツ事業本部 株式会社テニスユニバース 株式会社ニッケインドアテニス ノア・インドアステージ株式会社 株式会社ルネサンス ■就職率 <sup>※1</sup> : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 100% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年5月1日時点の情報)			主な資格・検定等		日本テニス協会認定C級審判員 日本体育協会認定テニス指導員 日本体育協会認定テニス教師		
中途退学の現状	■中途退学者 0名 平成27年4月1日時点において 在学者 61名 平成28年3月31日時点において 在学者 61名 ■中途退学の主な理由 ①経済的理由 ②学習意欲の低下 ■中退防止のための取組 ①個人面談を中心とした個別サポート ②業界理解セミナー・実習によるモチベーションの維持			■中退率 0% (平成27年4月1日入学者を含む) (平成28年3月31日卒業者を含む)				
ホームページ	http://www.neec.ac.jp/							

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

テニス業界に関する企業等と連携体制を確保して、プレイヤーとしての競技力向上やコーチやテニスクラブスタッフに必要なスキルを身につけるための実習や知識に関し、適宜ヒアリングを行いカリキュラムに反映させる。そのため、学内外の実習設備や施設等を活用し、派遣された講師による年間を通じた定期的な指導や評価を受ける体制をとることが可能な企業等をスポーツ関連業界より選定している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

教育課程編成委員会は、学校長を委員長とし、副校長、学科責任者、教育・学生支援部員、学科から委嘱された業界団体及び企業関係者から各3名以上を委員として構成する。

本委員会は、産学連携による学科カリキュラム、本学生に対する講義科目および演習、実習、インターンシップおよび学内または学外研修、進級・卒業審査等に関する事項、自己点検・評価に関する事項、その他、企業・業界団体等が必要とする教育内容について審議する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
中嶋 康博	公益社団法人 日本プロテニス協会 資質向上委	H28年4月1日～H29年3月31日	①
徳丸 豊	有限会社 フェアリーテニスフォーラム 常務取締役	H28年4月1日～H29年3月31日	③
杉山 利昌	有限会社テニスピア・ジュエ 代表取締役	H28年4月1日～H29年3月31日	③
山野 大星	日本工学院八王子専門学校 副校長	H28年4月1日～H29年3月31日	
中山 敬二	日本工学院八王子専門学校 カレッジ長	H28年4月1日～H29年3月31日	
三樹 春幸	日本工学院八王子専門学校 科長	H28年4月1日～H29年3月31日	
杉浦 晋	日本工学院八王子専門学校 主任	H28年4月1日～H29年3月31日	
荒井 哲子	日本工学院八王子専門学校 教育・学生支援	H28年4月1日～H29年3月31日	

(開催日時)

第1回 平成28年3月8日 15:10～17:10

第2回 平成28年7月19日 16:00～18:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

基本方針に沿って、科目担当者へのフィードバックをし、適宜内容の見直しも実施。学校教員(専任・非常勤)へ講師連絡会等で周知し、科目内容・学生指導への参考としている。企業等との連携により、テニスの競技力向上・コーチとして必要なスキル獲得、テニス教師等の資格試験や職業で必要となる最新の知識、技術、技能等を反映するため、企業等を含む教育課程編成委員会からの意見や提案を科目「テニス演習1」にて反映。担当はテニス業界でコーチ業を営む企業と連携。教育課程編成委員会を定期的実施し、評価項目の見直しや教育設計図の達成目標等の再検討を行い、次年度の授業に反映させている。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

テニスに関する技能指テニスプレイヤー・コーチの実務に必要な技能を、実際の企業が実施する仕事内容を踏まえて指導する。実際の指導現場を想定した社会人基礎力養成の助言、協力の得られる企業を選定する導と合わせ、実際の指導現場を想定した社会人基礎力養成の助言、協力の得られる企業を選定する

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

テニス演習1において、有限会社テニスプロジェクトとの打ち合わせにより、テニスの特性を理解し、競技者に必要な技術を高め、年齢別に的確な指導ができるよう密に打ち合わせを実施し、練習内容を確認する。各自毎に必要な技術の洗い出し、技術プラス体力アップの練習を行い、試合に向けて現状の再認識し個人のレベルの向上を目指す。またテニスプレイヤー・コーチに必要な資格や、技能・実習内容や評価を設定し、目標を明確にする。企業等の派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定を行う。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
テニス演習1・2	テニスの特性を理解し年齢別に応じた的確な指導が行えるコーチング力と競技者に必要な技術を養います。テニス演習1の基本をもとに、コーチング力と競技技術を高めます。	(有)テニスプロジェクト
テニス演習3・4	テニススクールにおける実践的なコーチング技術と競技場面において必要とされる技術力を高めます。個人の適正を考慮したコーチングと技術指導が実践できる能力を養います。	(有)テニスプロジェクト

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

講義と実習、演習の精度を高めるため、学科関連企業の協力のもと、企業等連携研修に関する規定における目的に沿い、学科の内容や教員のスキルに合わせた最新の技術力と技能、人間力を修得する。また、学校全体の教員研修を実施することにより、学生指導力の向上を図り、次年度へのカリキュラムや学科運営に反映させる。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

●平成28年3月15日9:00～12:00

[講師]テクノジムジャパン株式会社 藤野浩也・岡戸昌子

[内容]新規事業の事例から学ぶ

●平成28年8月21日10:00～12:00

[講師]株式会社ドリームビレッジ 村尾正彦

[内容]チームビルディング

② 指導力の修得・向上のための研修等

●平成28年3月15日14:00～17:00

[講師]トランスアクト株式会社 前原恵子

[内容]学生・保護者との接し方、接遇とコミュニケーション力向上

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

●平成29年3月頃

[講師]東急スポーツシステム株式会社 原田稔 ※予定

[内容]キャリアデザイン

●平成29年9月頃

[講師]NPO法人アイスフォゲルススポーツクラブ 原田直樹 [内容]インターンシップ・学外実習のための事前指導について ※予定

② 指導力の修得・向上のための研修等

●平成29年3月頃

[講師]株式会社ワークポート 梶川恭平 ※予定

[内容]企業が実践する就職相談のノウハウ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

専修学校における学校評価ガイドラインに沿っておこなうことを基本とし、自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、客観性や透明性を高める。

学校関係者評価委員会として卒業生や地域住民、高等学校教諭、専攻分野の関係団体の関係者等で学校関係者評価委員会を設置し、当該専攻分野における関係団体においては、実務に関する知見を生かして、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動の改善の参考とし学校全体の専門性や指導力向上を図る。また、学校関係者への理解促進や連携協力により学校評価による改善策などを通じ、学校運営の改善の参考とする

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 理念・目的・育人人材像
(2) 学校運営	(2) 運営方針(3) 事業計画(4) 運営組織(5) 人事・給与制度(6) 意思決定システム(7) 情報システム
(3) 教育活動	(8) 目標の設定(9) 教育方法・評価等(10) 成績評価・単位認定等(11) 資格・免許取得の指導体制(12) 教員・教員組織
(4) 学修成果	(13) 就職率(14) 資格・免許の取得率(15) 卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	(16) 就職等進路(17) 中途退学への対応(18) 学生相談(19) 学生生活(20) 保護者との連携(21) 卒業生・社会人
(6) 教育環境	(22) 施設・設備等(23) 学外実習・インターンシップ等(24) 防災・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	(25) 学生募集活動(26) 入学選考(27) 学納金
(8) 財務	(28) 財務基盤(29) 予算・収支計画(30) 監査(31) 財務情報の公開
(9) 法令等の遵守	(32) 関連法令、設置基準等の遵守(33) 個人情報保護(34) 学校評価(35) 教育情報の公開
(10) 社会貢献・地域貢献	(36) 社会貢献・地域貢献(37) ボランティア活動
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

教員からの一方向的な講義で知識を覚えるのではなく、学生たちが主体的に参加、仲間と深く考えながら課題を解決する力を養うのを目的としたグループワークなどを実施した方が良いと意見を受け、教員研修の実施や実習などを計画から実施するまでをグループで一貫して行い、作品は卒業制作展に出展するなど、今後の学生指導、カリキュラムの設定に反映させる。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
森 健介	順天堂大学 非常勤講師 (元白梅学園高等学校副校長)	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	学校関連
金子 英明	日本工学院八王子専門学校 校友会会長 (セントラルエンジニアリング株式会社 グループマネージャー)	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	卒業生/IT企業等委員
細谷 幸男	八王子商工会議所 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	地域関連
北尾 雄一郎	ジェムドロップ株式会社 代表取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	クリエイターズ企業等委員
今泉 裕人	一般社団法人コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	ミュージック企業等委員
古木 勝紀	株式会社バンパー 取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	デザイン企業等委員
一瀬 康剛	株式会社アトム精密 代表取締役	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	テクノロジー企業等委員
長畑 芳仁	NPO法人日本ストレッチング協会 理事長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	スポーツ企業等委員
石川 仁嗣	医療法人社団 健心会 みなみ野ハートクリニック 事務局長	平成28年4月1日～ 平成29年3月31日(1年)	医療企業等委員
榊原 直哉	八王子市私立保育園協会 (藤井保育園副園長)	平成28年7月1日～ 平成29年3月31日(9カ月)	医療・保育団体等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他( ) ) 平成28年9月12日  
URL: <http://www.neec.ac.jp/announcement/17332/>

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

教育目標や教育活動の計画、実績等について、企業や学生とその保護者に対し、必要な情報を提供して十分な説明を行うことにより、学校の指導方針や課題への対応方策等に関し、企業と教職員と学生や保護者との共通理解が深まり、学校が抱える課題・問題等に関する事項についても信頼関係を強めることにつながる。

また、私立学校の定めに基づき「財産目録」「貸借対照表」「収支計算書」「事業報告書」「監事による監査報告」の情報公開を実施している。公開に関する事務は、法人経理部において取扱い、「学校法人片柳学園 財務情報に関する書類閲覧内規」に基づいた運用を実施している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の現況、教育理念・目的・育人人材像、事業計画
(2) 各学科等の教育	目標の設定、教育方法・評価等、教員名簿
(3) 教職員	教員・教員組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職等進路、学外実習・インターンシップ等
(5) 様々な教育活動・教育環境	施設・設備等
(6) 学生の生活支援	中途退学への対応、学生相談
(7) 学生納付金・修学支援	学生生活、学納金
(8) 学校の財務	財務基盤、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9) 学校評価	学校評価、平成27年度の項目別の自己評価表
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

URL: <http://www.neec.ac.jp/announcement/17332/>

## 授業科目等の概要

(芸術専門課程 スポーツ健康学科 テニスコース) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ビジネススキル1	社会人になるために必要なヒューマンスキルを身につけます。	1・前	30	2	○			○		○		
○			ビジネススキル2	社会人になるために必要なコミュニケーション能力などを身につけます。	1・後	30	2	○			○		○		
		○	MOS	マイクロソフト認定Word、Excel資格取得に向けて、必要な基礎知識を学びます。	1・後	30	1			○	○			○	
○			PC活用	コンピュータの仕組みから基本操作までを実習を通じて学びます。	1・前	30	1			○	○				○
		○	予防とコンディショニング1	コンディショニングの把握・管理・方法と実際について学びます。また競技特性に応じたコンディショニングや、環境整備についても学びます。	1・前	30	1			○	○			○	
		○	解剖学概論	骨格、筋肉、心臓、血管、呼吸器、神経、などの構造と機能について学びます。	1・前	30	2	○			○			○	
		○	スポーツ自由研究A	スポーツに関することを様々な角度から捉え、実態や動向を明確にしその意義・本質などを見極め理解を深めます。	1・前	30	1			○	○			○	
		○	スポーツ自由研究B		1・後	30	1			○	○			○	
○			テニス演習1	テニスの特性について理解し、年齢別に応じた的確な指導が行えるコーチング力と競技者に必要な技術を養います。	1・前	120	4			○	○			○	○
○			テニス演習2	テニス演習1の基本をもとに、コーチング力と競技技術を高めます。	1・後	120	4			○	○			○	○
○			テニス強化演習1	テニスの基礎技術・戦術などを実践形式で学びます。	1・前	30	1			○	○			○	○
○			テニス強化演習2		1・後	30	1			○	○			○	○
		○	短期強化練習1	短期集中の練習計画のもと技術、体力、精神力の強化方法について学びます。	1・前	60	2			○	○			○	○
		○	短期強化練習2		1・後	60	2			○	○			○	○

	○	テニス実践実習1	対外試合を通じて、実践的なプレー感を養います。また、スタッフ（審判、サポート）として参加しテニス大会の運営に携わります。	1・前	60	2			○	○		○	○
	○	テニス実践実習2		1・後	60	2			○	○		○	○
○		トレーニング演習1	テニスプレイヤーとして最適なからだをつくるためのトレーニング方法を学び実践します。	1・前	30	1			○	○		○	○
○		トレーニング演習2		1・後	30	1			○	○		○	○
	○	コーチング演習1	テニスを指導するための基本的な考え方を学習します。	1・前	30	1			○	○		○	○
	○	コーチングインターンシップA	地域テニススクール等の現場実習を行います。	1・前	30	1			○		○	○	○
	○	コーチングインターンシップB		1・前	30	1			○		○	○	○
	○	コーチング実習A	テニススクール、学内等でコーチングの現場実習を行います。	1・前	30	1			○	○	○	○	○
	○	コーチング実習B		1・前	30	1			○	○	○	○	○
	○	日本赤十字社救急法A	日本赤十字社の救急法に関する知識と技術について学びます。	1・通	30	1			○	○			○
	○	スポーツトレーニング実習A	メディカルフィットネスセンター等を週1回利用して、トレーニング実践方法について学びます。	1・通	60	2			○	○		○	
	○	スポーツトレーニング実習B	メディカルフィットネスセンター等を週2回以上利用してトレーニング実践方法について学びます。	1・通	120	4			○	○		○	
	○	パーソナルフィットネス・エディケーションA	健康維持増進を目的としたスポーツ・トレーニングの手法などをドリル形式において学びます。	1・通	60	4			○	○		○	
	○	パーソナルフィットネス・エディケーションB		1・通	60	4			○	○		○	
	○	社会体育実習A	学外等において現場の実践的な経験を積み、指導者としての資質を高めます。	1・通	60	2			○		○		○
	○	キャリアアップセミナーA	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して資格取得を目指します。	1・通	15	0			○	○			○
	○	キャリアアップセミナーB		1・通	30	1			○	○			○
	○	キャリアアップセミナーC		1・通	45	1			○	○			○
	○	キャリアアップセミナーD		1・通	60	2			○	○			○

	○	キャンプインストラクター実習A	総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人へ伝えられるようにキャンプの基礎を学習します。	1・前	30	1				○	○	○						
	○	マリン実習	レベルに応じたサーフィン・ボディボードの基本技能を理解します。	1・前	30	1				○	○	○						
	○	アウトドア実習A	オートキャンプ、カヌー、トレッキング等のアウトドアライフの組立てについて実習を通じて学びます。	1・前	30	1				○	○	○						
	○	スポーツ医学概論	スポーツと健康、スポーツ活動中に多いケガや病気、アスリートの健康管理と内科的障害と対策、呼吸循環器系の働きとエネルギー供給、アンチドーピング、スポーツによる精神障害などについて学びます。	1・後	15	1	○				○	○						
	○	栄養学	スポーツと栄養、アスリートの栄養摂取と食生活について学びます。	1・後	15	1	○				○	○						
	○	コーチ学	スポーツ指導者とは、指導者の心構え・視点、競技者育成プログラムの理念、指導計画のたて方、スポーツ活動と安全管理、スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任などについて学びます。	1・後	30	2	○				○	○						
	○	トレーニング科学1	競技者育成と評価、競技者育成システムにおける指導計画、競技力向上のためのチームマネジメント、競技スポーツとIT、体力とは、トレーニングの進め方、トレーニングの種類について学びます。	1・前	15	1	○				○	○						
	○	短期海外研修A	海外におけるテニス指導者のテクニックからテニスクラブの運営・管理について講義と実技を通じて学びます。	1・前	60	2				○	○	○						
	○	スノーボード実習A	レベルに応じたスノーボードの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。	1・前	30	1				○	○	○						
	○	スキー実習A	レベルに応じたスキーの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。	1・前	30	1				○	○	○						
○		ビジネススキル3	社会人になるために必要なヒューマンスキル及びビジネス検定合格のためのスキルを身につけます。	2・前	30	2	○				○	○						
○		ビジネススキル4		2・後	30	2	○				○	○						
	○	スポーツ経営学	スポーツ組織の運営、スポーツ事業の計画・運営・評価、地域スポーツクラブの機能と役割、広域スポーツセンターの機能と役割、地域におけるスポーツ振興方策と行政のかかわり、我が国のスポーツ振興施策について学びます。	2・前	15	1	○				○	○						
	○	健康教育学	発育発達期の身体的特徴、心理的特徴、発育発達期に多いケガや病気、発育発達期のプログラムなどについて学びます。	2・前	15	1	○				○	○						
	○	社会体育概論	スポーツとは、文化としてのスポーツ、社会の中のスポーツ、障害者とスポーツについて学びます。	2・前	15	1	○				○	○						

		○	スポーツ心理学	スポーツと心、スポーツにおける動機づけ、コーチングの心理、メンタルマネジメント、指導者のメンタルマネジメント、スポーツ相談の意義、スポーツ相談の実際、子どもたちを取り巻く問題点と運動・スポーツの必要性などについて学びます。	2・前	30	2	○		○								
		○	トレーニング科学2	トレーニング理論とその方法、トレーニング計画とその実際、体力テストとその活用、スキルの獲得とその獲得過程、スポーツバイオメカニクスの基礎を学びます。	2・前	30	2	○		○								
		○	スポーツ自由研究C	スポーツに関することを様々な角度から捉え、実態や動向を明確にしその意義・本質などを見極め理解を深めます。	2・前	30	1			○	○			○				
		○	スポーツ自由研究D		2・後	30	1			○	○			○				
○			テニス演習3	テニススクールにおける実践的なコーチング技術と競技場面において必要とされる技術力を高めます。	2・前	120	4			○	○			○	○			○
○			テニス演習4	個人の適正を考慮したコーチングと技術指導が実践できる能力を養います。	2・後	120	4			○	○			○	○			○
○			テニス強化演習3	テニスの基礎技術・戦術などを実践形式で学びます。	2・前	30	1			○	○			○	○			
○			テニス強化演習4		2・後	30	1			○	○			○	○			
		○	短期強化練習3	短期集中の練習計画のもと技術、体力、精神力の強化方法について学びます。	2・前	30	1			○	○			○	○			
		○	短期強化練習4		2・後	30	1			○	○			○	○			
		○	テニス実践実習3	対外試合を通じて、実践的なプレー感を養います。また、スタッフ（審判、サポート）として参加しテニス大会の運営に携わります。	2・前	45	1			○	○			○	○			
		○	テニス実践実習4		2・後	45	1			○	○			○	○			
○			トレーニング演習3	テニスプレイヤーとして最適なからだをつくるためのトレーニング方法を学び実践します。	2・前	30	1			○	○			○	○			
○			トレーニング演習4		2・後	30	1			○	○			○	○			
		○	テニス教師対策1	日本体育協会公認テニス教師取得を目指し理論、実技を実施いたします。	2・前	30	2	○			○			○				
		○	テニス教師対策2		2・後	30	2	○			○			○				
		○	コーチング演習2	テニススクールにおける指導理論、実技を学びます。		90	3			○	○			○	○			
		○	コーチング演習3		2・後	60	2			○	○			○	○			

	○	プレイヤー演習1	競技力向上を目指し、技術・戦術のトレーニングを行います。	2・前	90	3			○	○		○	○
	○	プレイヤー演習2		2・後	60	2			○	○		○	○
	○	コーチングインターンシップC	地域テニススクール等の現場実習を行います。	2・前	30	1			○	○			○
	○	コーチングインターンシップD		2・前	30	1			○	○			○
	○	コーチング実習C	テニススクール、学内等でコーチングの現場実習を行います。	2・前	30	1			○	○	○	○	○
	○	コーチング実習D		2・前	30	1			○	○	○	○	○
	○	キャンプインストラクター実習B	総合的な自然体験である「キャンプ」の指導者として、キャンプの楽しさを多くの人へ伝えられるようにキャンプの基礎を学習します。	2・前	30	1			○		○		○
	○	マリン実習B	レベルに応じたサーフィン・ボディボードの基本技能を理解します。	2・前	30	1			○		○		○
	○	アウトドア実習B	オートキャンプ、カヌー、トレッキング等のアウトドアライフの組立てについて実習を通じて学びます。	2・前	30	1			○		○		○
	○	競技者システム育成論	競技者育成と評価、競技者育成システムにおける指導計画、競技力向上のためのチームマネジメント、競技スポーツとITについて学びます。	2・後	15	1	○			○			○
	○	日本赤十字社救急法B	日本赤十字社の救急法に関する知識と技術について学びます。	2・通	30	1	○			○			○
	○	スポーツトレーニング実習C	メディカルフィットネスセンター等を週1回利用して、トレーニング実践方法について学びます。	2・通	60	2			○	○		○	
	○	スポーツトレーニング実習D	メディカルフィットネスセンター等を週2回以上利用してトレーニング実践方法について学びます。	2・通	120	4			○	○		○	
○		成果発表	卒業展の企画・準備・運営を実施します。	2・通	60	2			○	○		○	
	○	パーソナルフィットネス・エディケーションC	健康維持増進を目的としたスポーツ・トレーニングの手法などをドリル形式において学びます。	2・通	60	4	○			○		○	
	○	パーソナルフィットネス・エディケーションD		2・通	60	4	○			○		○	
	○	社会体育実習B	学外等において現場の実践的な経験を積み、指導者としての資質を高めます。	2・通	60	2			○		○		○

		○	キャリアアップセミナーE	キネシオテーピングやストレッチングトレーナーなどの短期講座を受講して資格取得を目指します。	2・通	15	0			○	○			○
		○	キャリアアップセミナーF		2・通	30	1			○	○			○
		○	キャリアアップセミナーG		2・通	45	1			○	○			○
		○	キャリアアップセミナーH		2・通	60	2			○	○			○
		○	短期海外研修B	海外におけるテニス指導者のテクニックからテニスクラブの運営・管理について講義と実技を通じて学びます。	2・後	60	2			○		○		○
		○	スキー実習B	レベルに応じたスキーの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。	2・後	30	1			○		○		○
		○	スノーボード実習B	レベルに応じたスノーボードの基本技能を理解します。レベル別バッチ検定を実施します。	2・後	30	1			○		○		○
合計				90 科目	3855 単位時間(176 単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業時に必修科目間930時間(35単位)、選択科目770時間(27単位)合計1,700時間(62単位)取得すること。		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。